

田能遺跡の発掘調査は、4期にわたり6調査区において行われました。調査区ごとの出土資料にスポットを当て発掘の成果を紹介します。今回は第1調査区です。

| 調査回数 | 調査区 | 調査面積 | 調査期間 |
|-----------------------------|-----|-------|--|
| 第1次調査(昭和40年9月25日～昭和41年3月7日) | I A | 150㎡ | 昭和40年10月5日～10月27日 |
| | I B | 70㎡ | 昭和40年10月5日～10月27日 |
| | II | 150㎡ | 昭和40年10月28日～11月5日 |
| | III | 60㎡ | 昭和40年11月6日～11月15日 |
| 第2次調査(昭和41年3月8日～5月31日) | IV | 2450㎡ | 昭和40年11月14日～昭和41年3月31日 |
| | V | 940㎡ | 昭和41年3月12日～6月10日 ※報告書では19日となっているが、日誌では12日に起工式となっているので、12日とした。 |
| 第3次調査(昭和41年7月16日～8月31日) | VID | 200㎡ | 昭和41年7月16日～8月22日 |
| | IVN | 240㎡ | 昭和41年8月7日～8月22日 |
| 第4次調査(昭和41年9月1日～10月1日) | VIY | 150㎡ | 昭和41年9月1日～9月30日 |

台付短頸壺(第1A調査区)



器台(第1A調査区)

展示内容

1. はじめに
田能遺跡の発見

2. 第1A調査区

1) 遺構

2) 出土遺物

大溝出土の土器

3. 第1B調査区

1) 遺構

2) 出土遺物

沼にすてられた土器

4. 弥生時代のくらし

1) 土器に残るくらしのあと

2) 土器づくり

5. おわりに



壺(第1A調査区)



(内側)



粘土の継ぎ目でわれた土器(第1B調査区)



(外側)

すすのついた土器(第1B調査区)

あまがさきしりつれきし はくぶつかん
尼崎市立歴史博物館 たのしりょうかん
田能資料館
 〒661-0951 兵庫県尼崎市田能 6-5-1
 電話/FAX 06-6492-1777

田能資料館

検索



注意 展示・学習室でのイベント開催時は、企画展をご覧いただけない場合があります。くわしくはホームページや電話でご確認ください。